



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス

コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鹿島 亨

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長

(氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,631	△0.0	1,234	13.7	1,341	14.2	666	17.6
23年3月期第3四半期	23,635	△2.9	1,085	△0.8	1,174	3.7	566	△1.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 331百万円 (△9.4%) 23年3月期第3四半期 365百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	48.81	—
23年3月期第3四半期	40.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,922	14,784	56.9
23年3月期	26,451	15,522	58.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,761百万円 23年3月期 15,482百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	40.00	40.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	1.0	2,300	2.7	2,300	△3.1	1,355	3.1	99.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	15,240,000 株	23年3月期	15,240,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,101,630 株	23年3月期	1,400,230 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,653,580 株	23年3月期3Q	13,839,770 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9
5. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で企業収益が減少し、輸出・個人消費は横ばいで推移する等依然として厳しい基調で推移しましたが、生産等に緩やかな持ち直しの動きが見られるようになりました。

景気の先行きにつきましては、緩やかな持ち直しの持続が期待されますが、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらには欧州の政府債務危機等を背景とした海外景気の下振れリスク等により、不透明な状況が続いております。

情報サービス業界におきましては、震災、円高の長期化、タイの洪水等に伴う業績の先行き不透明感を背景にして、IT投資に慎重な顧客企業が多く見られ、併せて受注単価の下落に歯止めがかからない状況が続き、厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、『**既存事業の構造改革の推進**』と中長期成長戦略である『**自社IP製品ビジネスの本格推進と海外新規事業への取り組み**』に注力しました。

#### ■既存事業の構造改革の推進

##### 1. 案件管理の強化による受注拡大

厳しい事業環境のもとで、案件の発掘から受注までの案件管理の強化に努めた結果、前年割れが続いていた中核事業会社である株式会社S R Aの開発事業の受注が当四半期でプラスに転じ、当第3四半期連結累計期間では前年同期を上回ることができました。

##### 2. 収益性の高い生産体制の構築

配員管理の強化による生産間接費の適正化等に努めた結果、開発事業の売上高総利益率は3四半期連続で20%を超えました。

##### 3. 事業規模に見合うコスト構造への変革

営業部門の人員適正化による販売費の削減等に取り組みました。

#### ■自社IP製品ビジネスの本格推進と海外新規事業への取り組み

クラウド、ワイヤレスデータコミュニケーション等の成長分野における自社IP製品ビジネスを成長市場の中国等で展開する取り組みの第一弾として、当社グループのS R A OSS, Inc.が業務・資本提携を行っているProxim Wireless Corporation(「ワイヤレスデータコミュニケーション」における先進的な製品を製造・販売する米国の無線機器メーカー。世界各国で多数の導入事例あり)の製品を中国で販売するため、中国企業の販売網を活用した販売チャネルの構築について具体的な検討を行いました。

※自社IP製品ビジネス：知的財産権を有する、収益性が極めて高い自社ブランドの製品ビジネス

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

売上高につきましては、販売事業が増加したものの、開発事業と運用・構築事業が減少した結果、23,631百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

損益面におきましては、売上総利益は横ばいでしたが、販管費の効率化により、営業利益は1,234百万円(前年同期比13.7%増)、経常利益は1,341百万円(前年同期比14.2%増)となりました。また、四半期純利益は、受取保険金等を特別利益に、社葬費用等を特別損失にそれぞれ計上するとともに、改正税法に基づく繰延税金資産の取崩を法人税等調整額に計上した結果、666百万円(前年同期比17.6%増)となりました。

上記のとおり、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が横ばいとなりましたが、営業利益、経常利益および四半期純利益は増益となり、通期の業績予想に対してはほぼ想定どおりに進捗しております。

当第3四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は次のとおりです。

#### ●開発事業

開発事業は、損害保険業向けが増加しましたが、電力向けと製造業向けが減少した結果、当事業の売上高は11,706百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

#### ●運用・構築事業

運用・構築事業は、ネットワークの運用・構築とシステム運用のいずれもが減少し、分野別では、引き続き大学関連が微減となり、企業関連では特にシステム運用が減少した結果、当事業の売上高は2,535百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社S R Aで機器販売が減少しましたが、株式会社A I Tの機器販売が金融分野で好調だったため、当事業の売上高は9,389百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、仕掛品が747百万円、投資有価証券からの一年内償還予定債券の振替等により有価証券が273百万円増加しましたが、投資有価証券の購入、賞与の支給等により現金及び預金が1,896百万円、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が1,300百万円減少したため、流動資産は796百万円減少し、17,462百万円となりました。また、固定資産は無形固定資産の増加等により267百万円増加し、8,459百万円となりました。この結果、資産合計は529百万円減少し、25,922百万円となりました。

一方、負債合計は仕入れの増加により買掛金が450百万円、長期借入金が300百万円それぞれ増加したこと等により、208百万円増加し、11,137百万円となり、純資産合計は配当金の支払、自己株式の取得等により、737百万円減少し、14,784百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成23年5月12日公表の業績予想から変更はありません。景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,940	6,043
受取手形及び売掛金	6,118	4,817
有価証券	1,504	1,778
商品及び製品	316	459
仕掛品	1,024	1,771
繰延税金資産	433	444
その他	922	2,162
貸倒引当金	△2	△14
流動資産合計	18,259	17,462
固定資産		
有形固定資産		
建物	314	334
減価償却累計額	△191	△212
建物(純額)	123	122
機械装置及び運搬具	561	560
減価償却累計額	△508	△518
機械装置及び運搬具(純額)	52	41
土地	0	0
その他	100	100
減価償却累計額	△66	△69
その他(純額)	34	31
有形固定資産合計	211	196
無形固定資産		
その他	629	1,137
無形固定資産合計	629	1,137
投資その他の資産		
投資有価証券	4,252	4,333
繰延税金資産	1,579	1,334
差入保証金	460	440
その他	1,145	1,110
貸倒引当金	△13	△14
投資損失引当金	△73	△78
投資その他の資産合計	7,351	7,126
固定資産合計	8,192	8,459
資産合計	26,451	25,922

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,986	2,437
短期借入金	1,901	1,674
1年内償還予定の社債	300	—
未払費用	430	710
未払法人税等	489	108
未払消費税等	296	199
賞与引当金	602	458
役員賞与引当金	0	70
工事損失引当金	151	268
関係会社整理損失引当金	14	26
資産除去債務	—	3
その他	698	1,075
流動負債合計	6,872	7,032
固定負債		
繰延税金負債	—	2
長期借入金	—	300
退職給付引当金	3,606	3,653
役員退職慰労引当金	444	148
負ののれん	2	—
その他	2	1
固定負債合計	4,057	4,105
負債合計	10,929	11,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	10,963	11,076
自己株式	△894	△1,393
株主資本合計	15,552	15,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	0
為替換算調整勘定	△309	△405
その他の包括利益累計額合計	△69	△405
新株予約権	39	23
純資産合計	15,522	14,784
負債純資産合計	26,451	25,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,635	23,631
売上原価	19,706	19,684
売上総利益	3,928	3,947
販売費及び一般管理費	2,843	2,712
営業利益	1,085	1,234
営業外収益		
受取利息	37	88
受取配当金	19	31
その他	91	47
営業外収益合計	149	167
営業外費用		
支払利息	26	22
為替差損	17	12
証券代行事務手数料	11	14
その他	5	9
営業外費用合計	60	60
経常利益	1,174	1,341
特別利益		
受取保険金	—	141
その他	—	30
特別利益合計	—	172
特別損失		
投資有価証券評価損	51	1
関係会社株式評価損	86	—
関係会社整理損	23	12
社葬費用	—	39
その他	36	4
特別損失合計	198	58
税金等調整前四半期純利益	976	1,454
法人税、住民税及び事業税	397	508
法人税等調整額	12	279
法人税等合計	410	788
少数株主損益調整前四半期純利益	566	666
四半期純利益	566	666



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	566	666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△239
為替換算調整勘定	△161	△95
その他の包括利益合計	△200	△335
四半期包括利益	365	331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365	331
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	12,785	2,798	8,051	23,635	—	23,635
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	180	302	513	△513	—
計	12,816	2,978	8,353	24,149	△513	23,635
セグメント利益	1,375	548	565	2,488	△1,403	1,085

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,403百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	11,706	2,535	9,389	23,631	—	23,631
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	23	216	315	555	△555	—
計	11,729	2,751	9,705	24,186	△555	23,631
セグメント利益	1,422	410	387	2,219	△985	1,234

(注) 1. セグメント利益の調整額△985百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結累計期間より当社が行う経営管理上のセグメント業績評価基準を変更したことに伴い、各事業セグメントの測定方法を変更しております。また、従来の方法によった場合に比べて、開発事業169百万円、運用・構築事業40百万円、販売事業156百万円の各セグメント利益がそれぞれ減少しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
  
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
開発事業 (百万円)	12,386	90.1
運用・構築事業 (百万円)	2,549	90.0
合計 (百万円)	14,935	90.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ②仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
販売事業 (百万円)	6,418	127.9
合計 (百万円)	6,418	127.9

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ③受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	12,764	97.7	4,575	104.1
運用・構築事業	1,882	88.5	773	87.8
販売事業	10,084	116.7	3,697	114.6
合計	24,731	103.8	9,047	106.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

## ④販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	11,706	91.6
運用・構築事業(百万円)	2,535	90.6
販売事業(百万円)	9,389	116.6
合計(百万円)	23,631	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上